

# クラウドサービス利用規約

## 第1条（総則）

1. 本利用規約（以下「本規約」という。）は、お客様（以下「甲」という。）がコネクシオ株式会社（以下「乙」という。）の提供するクラウドサービス（以下「本サービス」という。）を利用するにあたり、乙が別途定める「レンタル基本約款」（以下「基本約款」という。）及び「サブスクリプションサービス契約約款」（以下「サブスク約款」という。）に基づき、甲乙間の権利義務関係を定めるとともに、本サービスの利用に関わる一切の關係に適用されます。
2. 本規約に定めのない事項については、基本約款及びサブスク約款の規定が適用されるものとし、本規約とそれらの約款の内容が抵触する場合には、本規約が優先して適用されます。
3. 甲は、本サービスが、乙が株式会社シーティーエス（以下「原提供者」という。）から提供を受け、これを甲に再販・転貸するものであることをあらかじめ承諾するものとします。

## 第2条（用語の定義）

本規約において使用する以下の用語は、各々以下に定める意味を有するものとします。

- (1) 「利用契約」とは、基本約款又はサブスク約款に基づき甲乙間に成立する本サービスの利用にかかる契約を意味します。
- (2) 「登録情報」とは、甲が本サービスの申し込み時に乙に提供した一定の情報を意味します。
- (3) 「通信履歴」とは、甲が本サービスを利用する過程でサーバーに記録されるデータ、アクセスログ、及びアクセス数を意味します。

## 第3条（本サービスの内容）

乙が甲に提供する本サービスの内容は、個別契約（注文書等）に定めるとおりとします。

## 第4条（ID・パスワードの管理）

1. 甲は、本サービスの利用に必要なID及びパスワードを自己の責任において厳重に管理・保管するものとし、これを第三者に貸与、譲渡、売買等をしてはならないものとします。
2. ID又はパスワードの管理不十分、使用上の過誤、第三者の使用等によって生じた損害に関する責任は甲が負うものとし、乙は一切の責任を負いません。
3. 甲は、ID又はパスワードが盗用され、又は第三者に使用されていることが判明した場合には、直ちにその旨を乙に通知するとともに、乙からの指示に従うものとします。

## 第5条（データの管理とバックアップ）

1. 乙は、本サービスのサーバーに保存されたデータ等の安全管理に努めますが、その完全性、確実性を保証するものではありません。
2. 甲は、本サービスに保存するデータ等について、自己の責任において定期的にバックアップを行うものとします。

3. システム障害、機器の故障、通信回線の障害、その他事由の如何を問わず、データの消失、毀損、変更等が生じた場合であっても、乙はデータの復旧義務及び損害賠償責任を負わないものとします。
4. 契約終了後、乙は、サーバーに残存する甲のデータを、甲への通知なく削除することができるものとします。

#### 第6条（禁止行為）

- (1) 甲は、本サービスの利用にあたり、基本約款及びサブスク約款に定める禁止事項に加え、以下の行為をしてはなりません。
- (2) ウイルス等の有害なコンピュータープログラムを含む情報を送信・保存する行為
- (3) 乙、原提供者又は第三者の知的財産権、プライバシー権、名誉等を侵害するデータを送信・保存する行為
- (4) 本サービスのサーバーに過度な負荷をかける行為、又はアクセス制御機能を解除・回避する行為
- (5) 乙が定める一定のデータ容量を超えて利用する行為
- (6) 本サービスの全部又は一部を、乙の承諾なく第三者に再販、貸与する行為
- (7) その他、乙が不適切と判断する行為

#### 第7条（サービスの停止・中断）

1. 乙は、以下のいずれかに該当する場合には、甲に事前に通知することなく、本サービスの全部又は一部の提供を停止又は中断することができるものとします。
  - (1) システムの点検又は保守を緊急に行う場合
  - (2) 地震、火災、停電、天災地変などの不可抗力により運営ができなくなった場合
  - (3) 原提供者が本サービスの提供を停止又は中断した場合
  - (4) 外部サービス（連携する他社サービス等）にトラブルや停止が生じた場合
  - (5) その他、乙が運用上又は技術上必要と判断した場合
2. 乙は、本条に基づき行った措置により甲に生じた損害について一切の責任を負いません。

#### 第8条（対応ハードウェア等の準備）

1. 本サービスの利用に必要な、対応ハードウェア、スマートフォン、通信回線等の準備及び維持は、甲の費用と責任において行うものとします。
2. 甲は、自己の利用環境において、ウイルス感染防止、不正アクセス防止等のセキュリティ対策を自らの費用と責任において講じるものとします。

#### 第9条（通信履歴の取扱い）

1. 乙及び原提供者は、通信履歴を秘密として保持し、本サービスの提供・管理（ユーザーサポート、メンテナンス、料金請求等）以外の目的で使用しません。
2. 前項にかかわらず、乙及び原提供者は、通信履歴を個人が識別できない統計データとして加工し、本サービスの改良やマーケティング等のために利用・提供することができるものとします。

3. 乙は、法令に基づく場合や、人の生命・身体・財産の保護に必要な場合等、正当な理由がある場合には、甲の同意なく通信履歴を第三者に開示することができるものとします。

#### 第 10 条（保証の否認及び免責）

1. 乙は、本サービスが全ての端末で正常に動作することや、甲の特定の使用目的に適合すること、バグや不具合がないことを保証するものではありません。
2. 本サービスが外部サービスと連携する場合、乙はその連携を保証せず、連携不具合により生じた損害について責任を負いません。また、甲は当該外部サービスの規約を自己の責任で遵守するものとします。
3. 乙は、本サービスの利用に関連して甲が被った損害について、賠償する責任を一切負わないものとします。
4. 消費者契約法の適用その他の理由により、乙が甲に対して損害賠償責任を負う場合においても、乙の賠償責任は、直接かつ通常の損害に限り、逸失利益等の間接損害は含まないものとし、損害の事由が生じた時点から遡って過去 3 ヶ月間の期間に甲から現実に受領した本サービスの利用料金の総額を上限とします。
5. 乙の責めに帰すべき事由により本サービスが全く利用できない状態が 48 時間以上継続した場合に限り、乙は、月額利用料金の 30 分の 1 に利用不能日数を乗じた額を限度として損害賠償（又は契約期間の延長）に応じるものとします。ただし、損害額が 1 万円未満の場合は契約期間の延長をもって代えるものとします。

#### 第 11 条（開発中のサービス）

1. 乙は、本サービスの一部として「開発中のサービス（ベータ版等）」を提供することがあります。
2. 開発中のサービスについては、その性質上、不具合が含まれる可能性があるため、乙は一切の保証を行わず、いつでも提供を中止することができるものとします。

#### 第 12 条（権利の帰属）

1. 本サービスに関連する知的財産権は、乙又は原提供者に帰属します。
2. 甲が本サービスを通じて保存・入力したデータの権利は、原則として甲に帰属します。ただし、乙及び原提供者は、本サービスの運営に必要な範囲で当該データを利用（複製、バックアップ等）することができるものとします。

#### 第 13 条（契約内容の変更）

本規約の内容は、変更が一般の利益に適合する場合、又は変更が契約の目的に反せず合理的である場合には、乙の判断により予告なく変更することができるものとします。

以上

制定・施行日：2025 年 12 月 1 日